



園だより

にじ

NO.4

香川大学教育学部附属幼稚園
2016年6月1日

久しぶりに雨が降り、種を植えていたヒマワリなどの芽が出てきていました。早速気づいた赤組の Y ちゃん。クラスの先生と一緒に見ていました。とてもにこやかでした。また、園で「よろよろチョウ」と呼ばれているウメエダシヤクが、今子どもたちの心を引き付けています。地味な色合いながら、よろよろとゆっくりと飛んでいくので、子どもたちは捕えたり友達と虫ケースに集めて見つめたり、また壁や天井にぴたりとひっついている姿を見て、すごいなあと一緒に感心したり・・・。生き物には、心を動かす不思議と魅力がいっぱいです。30日の朝、ダンゴムシが赤ちゃん生まれました!と青組の Y くんの声。日に日に虫たちの変化があることを見つめている子どもの心も変化しています。かかわる先生たち大人も影響を受けていて、互いのおもしろい関係がつけられています。子どもから学ぶことも、大人をまねながら学ぶこと、生活の中の大事なとなみですね。

JAF 交通安全教室

チャイルドシート大事です



5月30日、交通安全教室を行いました。交通安全についてのお話を聞きながら、歌ったりクイズに答えたりしながら、少しずつ考えていきました。

チャイルドシートについて知っていた子どもたち、少し大きくなったときに使う「ジュニアシート」には驚きと兄弟が使って知っているという声がありました。チャイルドシートになぜ乗るのか、自分を守ることもていねいにお話してくれました。子どもたち、家族の安全を守るために、大人も気を配っておきたいですね。



♪森のくまさん
(替え歌バージョン)

道路を渡るとき
よく見てわたりましょう
止まって 手をあげて、
右見て 左 右

青のとき、渡れます
赤・黄、止まれです
青でも手をあげて、
右見て 左 右

飛び出しはあぶないよ
必ず止まりましょう。
止まって手をあげて
右見て 左 右

歌
っ
て
み
て
く
だ
さ
い
ね

安全クイズ、考え中。さすがの青組



最後に子どもたちとのお約束。

「車に乗ったら、チャイルドシート」

「道路へ飛び出さない」

車の多い社会です。日ごろから、危ないこと子ども自身がキャッチして、歩いたり渡ったり車に乗ったりできるように、言葉がけをしてあげてください。



歌いながら、安全チェック♪



リズムダンスで踊ろう!



5月31日、赤組、青組さんは、ダンスを楽しむ活動をしました。スペインの音楽・踊りの中で、担任の先生の闘牛と高橋先生の闘牛士の場面を喜んで見ている子どもたち。闘牛士のように、旗を振るように動いたり、かっこよくポーズしたりと、体を動かしながら遊びました。泳いだり走ったりゆっくり動いたりしながらのゲームは、人気で「楽しかった・・・」「もう一回しよう」(赤組さん)との声。青組さんは、先生のまねっこダンスに目をきらきらしている姿が見られました。体をいろいろに動かす心地よさ、音楽の楽しさ、感じたひとときでした。



大きく 大きく パー



♪リズムにのっています

子どもたちの姿から・・・



5月の始め、青組さんがダンゴムシを飼い始めていた頃のことです。黄組の子どもたちも先生と一緒に散歩しながら、ダンゴムシとふれあう(見たり触ったり)する場がありました。そんな折の小さな生き物への思いがふくらんでいくささやかな子どものお話です。

職員室近くで私の顔を見ると、「ダンゴムシ・・・」とRくん。外は、小降りなので「ダンゴムシ?(どこに行こうかな)」と聞き返すと、「ダンゴムシ、見つける」と伝えてきました。外に出ていくのは、今日は難しいなあと思いながら、「ダンゴムシ、見つけたいんね」と私。そんな私をひっぱっていくかのように、廊下を歩き、青組のグリーンマット(リズム室前)へやってきました。Rくんは、ふと虫かごに目を向け、「ダンゴムシ、ダンゴムシ」と、よほど見たいなのでしょう。

しばらくじいっと、飼育ケース(青組みんな用)をのぞき込んでおりました。小さなものがむくむくと動いています。

「あっ、ダンゴムシ、取って」とRくん。私を見て、「んんん、取って」と手は引っ込めています・・・ちょっと怖いのかなと感じたので、私の手のひらにのせて、「ほら、ダンゴムシ、歩く歩く・・・」と見せると、「あっ、ダンゴムシ、こっちこっち」と目を大きく開いて見えています。そこへ赤組のMちゃんが来て、「ダンゴムシ、見せて～」と手にのせ始めました。ダンゴムシを歩くのを見たり、丸ませたりと、楽しそうに笑いながらダンゴムシと遊んでいる姿に、Rくんは、「かまない?」と何度か尋ねてきました。「お口、ちっちゃいからねー」と答える私の言葉より、Mちゃんの楽しげな姿が確かな答え。

しばらくして、Rくんは、てのひらをそーと出してきました。Mちゃんがダンゴムシをのせると、Rくんはなんとも言えない顔で、手の上のダンゴムシをじっと見つめていました。こしょこしょと歩いているのでしょう。「わあ・・・こしょばい・・・」と言いつつも、目が柔らかい。ダンゴムシへのちょっとした怖さから安心へと変わりつつあるのが感じられました。Mちゃんも一緒に見て、こっち、こっちと腕のまで動く様子を楽しんでいました。

その後、Rくんは、手のひらを合わせて、中に入っているダンゴムシに小さい声で「かわいい・・・」と、うれしい優しい表情で話しかけるようにつぶやいていました。そんな彼の姿もかわいく愛らしく感じました。その日以来、私を見て、「ダンゴムシ、バッタ、なめくじ、カタツムリ・・・」といろいろ伝えてくれるRくんでした。

生き物と出会うこと、ささやかな場でも心が一人一人違うこと、周りにいる友達の姿が心を動かしてくれることを感じさせられるひとときでした。大人になった私に、ダンゴムシをかわいいと、心から感じさせてくれる子どもに感謝です。柔らかくそのものを見つめる心に気づかせてくれるようです。子どもと一緒に過ごすひとときは、とても特別な時間です。

